大阪府教育センター附属高等学校 第１２回入学式 式辞

春の気配もようやく整い、草木の緑が美しく映えるこの佳き日に、大阪府教育センター附属高等学校 第 12 回入学式を挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました 240 名の１２期生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

本校は、全国初の教育センターと一体となった高等学校であり、大阪の教育を先導するナビゲーションスクールとして、平成 23 年４月に設立され、本年度で設立 12 年目を迎えました。

「共に学び、共に敬い、共に高まる」をスローガンに、“新たな学びを創造する学校”を展開する中で、さまざまな教育活動を進めるに当たっては、大阪府教育センターと連携し、研究の成果を生かしながら日々歩んでおります。

それでは、本日より、大阪府教育センター附属高等学校の生徒として新たなスタート地点に立った皆さんに、私から心に留めておいてもらいたい二つのことをお伝えします。

一つ目は、何事にも「疑問を持ち、深く考える」ということです。

義務教育における学びの多くは、与えられたものを、いかに吸収するかということが多かったのではないかと思います。知識量を増やすということは、とても大切なことです。これからも貪欲に様々なものを吸収していってください。しかし、高等学校での学びは、与えられたものを吸収するという受動的な姿勢だけでは不十分です。提示された物事に対して、**「それは本当だろうか、なぜそうなるのだろうか」**という疑問を常に持つようにしてください。

疑問を持つことは、「主体的に学ぶ」ために必要な、エネルギーの源です。**「純粋に物事を探究する心」**こそが、皆さんの今後の学びを充実したものにしてくれることでしょう。

そして、抱いた疑問に対しては、**自分で徹底的に考える**ようにしてください。小さなものから大きなものまで様々な疑問が出てきて、そのどれもが、少しぐらい考えても解決しないことが多いでしょう。

そんな時にこそ、**「あきらめずにとことん考え続けること」**が重要です。

結果として解決するかどうかは、あまり大きな問題ではありません。何をどのように考え、その結果として、何がどこまで解明できたのか、あるいはできなかったのかということを明らかにするという**「経験をいくつも積み重ねること」**が重要なのです。これから、忙しい日々が続く３年間になりますが、**「考える」**ということを大切にしてください。

二つ目は、「自分の可能性に制限を設けない」ということです。

皆さんの中には、将来の夢をすでに明確に持っている人もいるでしょう。これから考えるという人もいるでしょう。

今、抱いている夢と、現時点での自分の力を見比べると、自分にはできないのではないだろうかと不安になることもあるでしょう。しかし、皆さんの可能性は無限なのです。その無限の可能性を引き出し、その夢を実現させるためには、**「自らが、ひたすら自分の夢を追いかけることによってしか、実現させることはできないのです。」**

壁にぶつかることもたくさんあるでしょう。

しかし、その壁を乗り越えることができるかどうかは、壁に挑む人の**「心の持ちようとその覚悟」**にかかっていると思います。

「夢を実現するイメージ」を常に持ち、「自分の力」を信じて、**「臆せずチャレンジする心」**を持ち続けてください。

結びになりますが、保護者の皆様方、改めまして、お子様のご入学おめでとうございます。

皆様の期待や願いに応えるよう、我々教職員一同、全力を尽くしていく覚悟でおります。

何卒、本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げまして、式辞とさせていただきます。

令和四年四月八日

大阪府教育センター附属高等学校

校長　寺田　明彦